



YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP

遊ゆう悠ゆう心しん

<http://www.matsuyama-yeg.com/>

No. **46**

2008竹下会長所信表明



昨年は、いろいろと新しい取り組みをしてきました。そのきっかけとなったのが、2009年度に開催される日本YEG全国大会「えひめ松山大会」の開催が決定したことでした。全国の人々との交流から多くのことを学んでいこうという新たな価値観の創造というスローガンの下、6月に開催された松山の県大会においても、全国大会を見据えての運営方針や企画など、あえて難しいものにチャレンジしてきました。そして日本YEG主催の会合への参加や四国・県内での事業や交流活動を開催してきました。また、親会・女性会・行政の方々との交流も開催、参加してきました。そして、松山青年会議所の皆様との交流も行ってきました。

また、委員会活動においては、地域共生活動での清掃ボランティア、全国への広報誌「遊悠」では日本YEG会長との対談、ホームページの更新、行政との交流会、交流ゴルフも久しぶりに開催され、新しい事業に多く

～新たな価値観の実践～

取り組んできました。

県連での全国大会準備委員会の活動も活発になり、県内全単会への訪問勉強会の開催、兵頭大会会長・加藤実行委員長との正式決定や2008年度松山から4名の日本YEG出向など、いよいよ全国大会モードに突入してまいります。

そのような年に、単会事業・全国大会実行委員会など、会員皆様方には多大なご協力をお願いすることとなります。特に役員の皆様方には松山YEG設立以来の年間行事があります。そのため、メンバー一人ひとりがこの一年間で、ひとつリーダーシップを発揮し事業の運営にチャレンジしてみてください。

YEG活動の目的のひとつとして、組織・人間関係の勉強の場にしていただきたいという考えを持っています。自社での企業活動では失敗は許されません。しかし、YEGでは、おおいに挑戦・実践してみてください。全国で26,000人、愛媛県連で800人、松山で200人の組織を動かすことが出来ます。委員会や部会でも30名の組織の運営が出来ます。皆様の会社で、このような人数のリーダーをされている方はあまりいらっしゃらないと思います。ですから、青年部活動の中で、組織・人間関係を学んでほしいと思います。リーダーとは、「組



織を良い方向に導き出すこと」といわれます。YEGでの活動が、メンバーの人生やそれぞれの企業の繁栄に繋がるような会になればと願っております。

松山YEGとしての価値観、また会員一人ひとりの価値観との融合を図り、全国大会において我々に必要なものと、その後の松山YEGに必要なものとしつかりと認識し、松山YEG会員一人ひとりの成長を願って、この一年間舵取りをしていきたいと思えます。皆様のご協力をいただきながら活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

松山YEG 2008 委員会 活動方針

総務委員会

委員長 乃万 光生



今年度の総務委員会は松山YEGの活動が円滑に遂行されるようにという役割

のもと、「地域との共生活動の企画・運営」、「会員名簿・名刺の作成」、「エンジェルタッチの普及」、「役員会の運営」という4本の柱で、「新たな価値観の実践」を指して一年間活動してまいります。また、日本YEG全国大会の総務部会メンバーとして天野部会長のもと、大会事務局と連携をとり全部会の調整役を致します。一見地味に見える委員会ではありますがメンバーは若手?中心の熱血集団です。今年一年燃える集団『総務委員会』をよろしく願います。

交流委員会

委員長 小池 正照



交流委員会で、1年を通して皆さんが参加しやすい、参加して楽しい企画を当委員会のメンバーと総に運営していきたいと思っております。

さて、交流委員会の最初の事業はマナーズとの交流事業「遊藝杯」です。今年は5月17日(土曜日)にグラウンドゴルフ大会を企画いたしました。楽しい遊藝杯の日になると思っております。よろしくお願いいたします。その他に女性会会員との交流の場として「女性会総会(5月)」、「女性会新年互礼会(1月)」、他のYEGや組織との交流の場としては「四国ブロック大会(9月・坂出)」、「YEGソフトボール大会(10月)」、「JC訪問例会」、そして「全国大会(11月・大津市)」、1年を通じて各行事に皆さんと共に参加していきます。また、ボーリング大会・ゴルフコンペも企画する予定です。この1年間、私自身も多くの方とより親しくなることを楽しみにしております。どうぞよろしく願います。

組織強化委員会

委員長 森田 浩一



今年度の組織強化委員会の活動は、昨年度委員会の活動をほぼ引き継ぐ形で、会員間の結束強化を目的とし、三つの事業に取り組みます。

一つ目、会員増強事業では、2000人体制への到達・維持を目標とし、増員活動に邁進してまいります。二つ目、提言事業では、親会・行政に対する提言へのチャレンジとして、地域の青年経済団体としての価値を高めていくテーマと捉え、提言書作成への基礎作りを行ってまいります。三つ目の各種連絡会事業では、会員間の意見交換を目的とし、幹事会などの委員会を越えた連絡会を企画・開催していきます。このような事業を通して、組織のさらなる活性化に繋がれることを願っております。会員増強のためには、会員の皆様のお力もお借りしたく思っておりますので、一年間、どうぞよろしく願います。

広報委員会

委員長 岩井 義典



平成20年度広報委員会のメイン事業は二つ、広報誌遊悠の発行、ホームページの更新となっております。

ホームページの更新となっております。ホームページの更新につきましては毎月の更新をがんばっていきたく思っております。遊悠につきましては一昨年、去年と同様年2回の発行、きたる全国大会にむけて県内外へ松山YEGの活動をPRできたらと思っております。不慣れながらも精一杯良い物、三年目にして質が落ちたと思われない紙面作りを目指して委員一同一丸となってやっております。原稿依頼等々皆様にお願ひ、ご無理を言う事があるかもしれませんが、ご協力よろしく願ひいたします。

全国大会プロジェクト委員会

委員長 田部井優介



全国大会プロジェクト委員会は平成21年3月に開催する第29回全国大会「えひめ松山大会」に向けての準備を行ってまいります。

えひめ松山大会は、日本YEGの年間事業サイクル変更という大きな節目の大会です。より楽しく、より印象深い大会にしていくために「夢を語ろう!愛あるえひめで!!」をコンセプトに掲げより具体的な形づくりのために企画、運営、管理を行ってまいります。実行委員会・各部会とも積極的に連携し意見交換をしながら「松山はひとつ!愛媛はひとつ!」、ともに力をあわせて進めていきたいと考えておりますのでよろしく願ひいたします。

研修委員会

委員長 森 康仁真



平成20年度研修委員会のテーマは、全国大会を見据えた研修を掲げています。

全国大会では、式典部会を任されていますのでスムーズな総会、例会を進行させていきたいと思っております。今回の総会からYEG宣言を取り入れさせて頂きました。全国大会や四国ブロック大会など大きな大会では取り入れられています。松山単会は開催地単会ですので式典の在り方を知って頂きたくYEG宣言を入れました。全国大会まで2年をきりました。皆さんと一緒に頑張っていきますので1年間よろしく願ひいたします。

地域連携委員会

委員長 五木田和樹



昨年、愛称を「松つちやま連」に変更し、さらなるアピールした「市民参加」

京から参加する人もいするなど大勢の皆さんに評価される事業と成長しました。知名度も向上しているのがパージョニアです。敢えて新しい取り組みを行うのでは?と、これまで音楽、振り付けを継承し「お馴染みの踊り」より多くの人が参加しやすい「連言」に換えれば「周知から定番」へのシフトに力点を置いて活動していきたいと考えています。松山まつりの更なる活性化を目指し、市民参加連で踊ってくれた人達が、将来的には自分達で新たな連を作り、松山まつりに参加してくれるような仕掛け作りも視野に入れて活動していく方針です。「全国に誇れる松山まつりを目指して!」今年も汗をかきながら盛り上げていきたいと思っておりますので、皆様のご協力の程よろしく願ひいたします。

新組閣

